

作成日：西暦 2026 年 4 月 17 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：肥満度が移植後腎機能に及ぼす影響に関する研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2012 年から 2025 年の間に藤田医科大学病院臓器移植科で生体腎移植を受けた患者

2. 研究目的・方法・研究期間

腎移植領域において肥満は周術期リスクの上昇と関連すると言われています。一方で移植後の長期経過への影響については一定した見解がありません。本研究は、皆様の当院での診療情報を分析して肥満度が腎移植診療に及ぼす影響を明らかにすることが目的です。本研究により移植後フォローアップにおける生活習慣介入の最適化が可能となります。

研究期間は倫理審査委員会承認日から 2028 年 7 月 31 日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では診療情報のみを使用します。利用する主な診療情報は以下の通りです。

- 1) 患者背景：性別、糖尿病歴、移植前透析導入時期、合併症、既往歴、身長、体重など
- 2) 組織適合性（術前）：血液型、Donor および Recipient の HLA など
- 3) ドナー背景：性別、年齢、合併症、既往歴、身長、体重、手術時の血液検査結果など
- 4) 移植手術情報：臓器摘出術および臓器移植術それぞれについての手術日時、術式、出血量、輸液量、グラフト重量、阻血時間、合併症の有無など
- 5) 免疫抑制剤投与状況：タクロリムスまたはシクロスポリン、バシリキシマブもしくは抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン、ミコフェノール酸モフェチル、エベロリムスおよびステロイドの投与状況など
- 6) 臨床検査：移植 1 か月後、3 か月後、6 か月、1 年後、その後各年毎のグラフト機能および一般臨床検査データ(クレアチニンやシスタチン C, コレステロール値など)。一般臨床の範囲を超えての検査は行いません。
- 7) 画像検査：単純 CT 画像と画像から算出した皮下脂肪量、内臓脂肪量など
- 8) 移植腎の状況：生着または廃絶、拒絶反応の有無など

9) 移植後経過：糖尿病や脂質異常の発症、患者死亡の場合、死因など

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

藤田医科大学学長 岩田仲生

研究責任者：藤田医科大学医学部 移植・再生医学 教授 伊藤泰平

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部 移植・再生医学

担当者：會田 直弘

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9043

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。